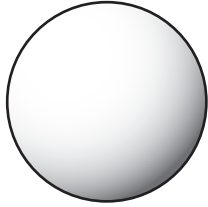


月の満ち欠けを考えよう

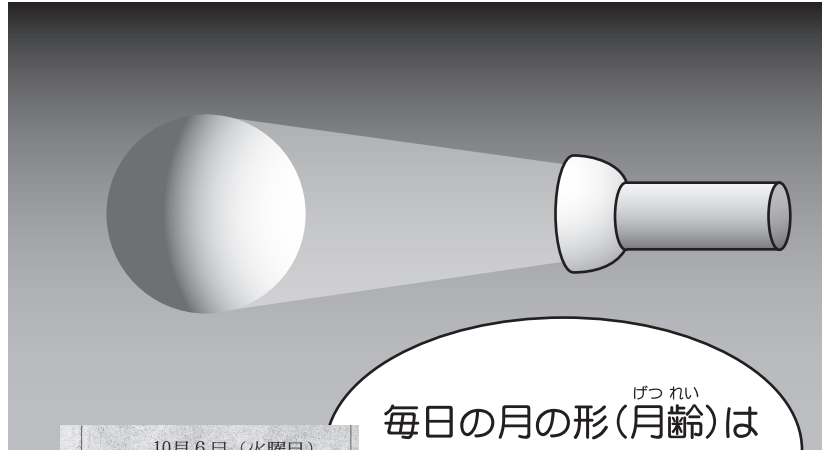
6年

◆プラネタリウムで学習した、月の満ち欠けの実験を、学校やおうちでもやってみよう。

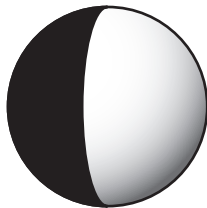
①ピンポン玉など、手ごろな大きさの玉を用意する(白いものがよい)。



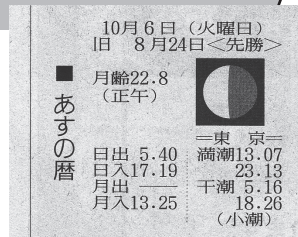
②ピンポン玉を月に見立て、暗くした部屋で、太陽光のかわりに、かい中電灯などでいろいろな向きから光を当ててみよう。今日の月と見くらべて、同じ形になるのは、どちらから光が当たっているときだろうか？



※かい中電灯の光でうまく影ができないときは、ピンポン玉を半分黒くぬり、向きを変えながら考えてみよう。



毎日の月の形(月齢)は新聞にのっているよ!



こんなかんじ



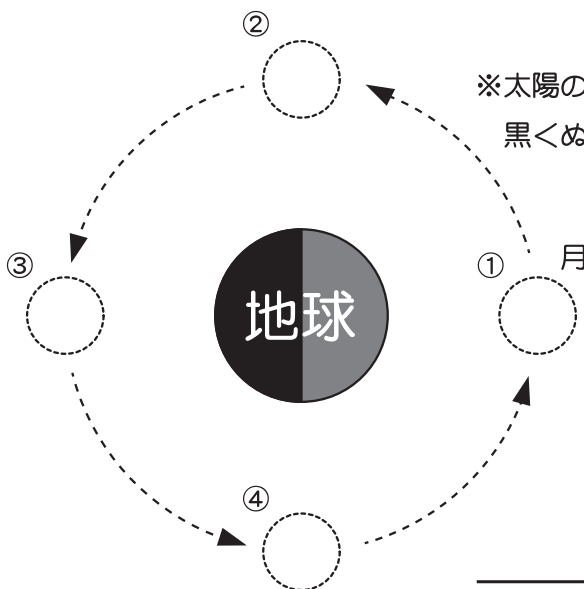
11~12月の月の形	● 三日月..... 11月 3日
	◐ 半月(上弦).... 11月 9日
	○ 満月..... 11月 16日
	● 三日月..... 11月 3日

※その後は...●三日月 12月 3日、◐半月 12月 9日、○満月 11月 15日

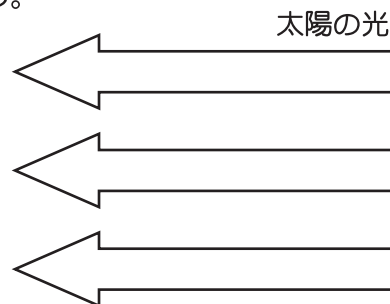
◆月は地球のまわりをおよそ 27.3 日かけて回っている。

下の図は、宇宙へ飛び出し、遠くからその様子をながめている(地球の北極側から見た図)。

地上から見て、次のような形の月が見えるのは、下の図で、月が①~④のどの位置にあるときだろうか？



※太陽の光が当たらない影の部分(ふぶん)を黒くぬってみよう。



年 組 名前